

四十どころか、 いまだに「感いまくり」です,,, — 鉄筋コンクリート構造から脱皮して —

浙江大学 趙 唯堅

略歴

- 1982年 上海同濟大学 卒業
1982年 潘陽建築大学 助教/講師
1988年 中国政府派遣研究者 長岡技術科学大学
1993年 長岡技術科学大学 修士修了
1996年 長岡技術科学大学 博士修了
(丸山久一先生に師事)
1996年 大成建設(株) 技術研究所/技術センター
研究員/主任研究員/主席研究員
2018年 浙江大学 教授



大成建設技術センター

地図に残る仕事。 大成建設

Zhejiang University / 浙江大学



学部数36(文, 理, 法, 芸術, 外国語, 工, 農, 医, 動物, 情報, 環境, 教育, , ,)
教職員数約3700人、学生数約55000人、うち学部生/修士/博士=2.5/2.0/1.0、留学生約6800人

College of Civil Engineering and Architecture / 建築工程学院

Department of Civil Engineering

Department of Architecture

Department of Hydraulic Engineering

Department of Regional and Urban Planning



研究経歴

★鉄筋コンクリート構造の基礎研究

鉄筋コンクリート柱主筋の座屈 / 鉄筋コンクリート部材のひびわれ幅の算定方法 / 鉄筋コンクリートフレーム構造の非線形解析方法 / 鉄筋コンクリート構造の耐震性能

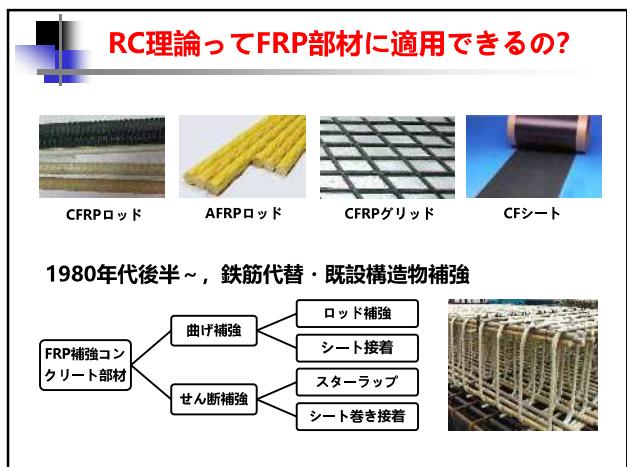
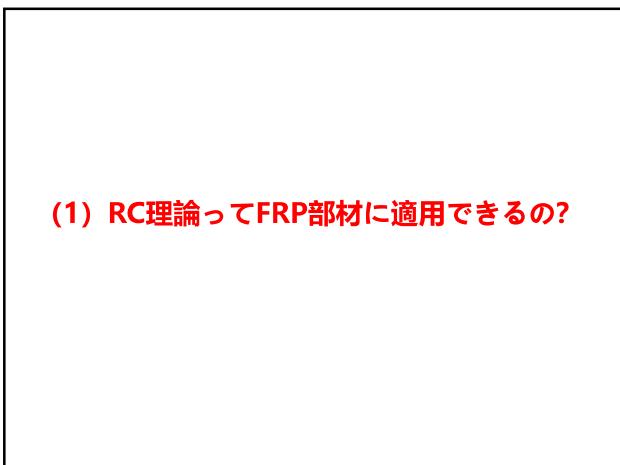
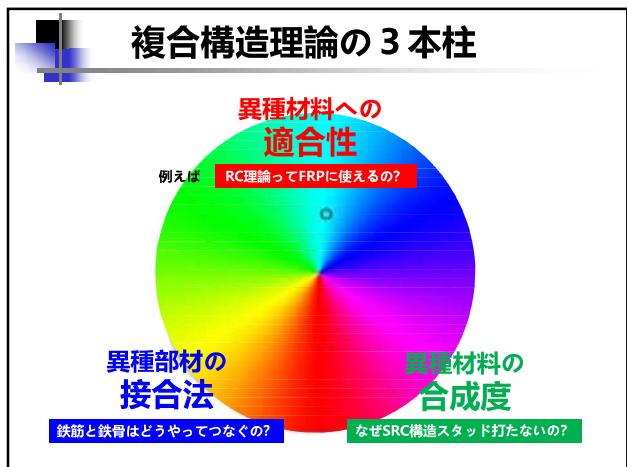
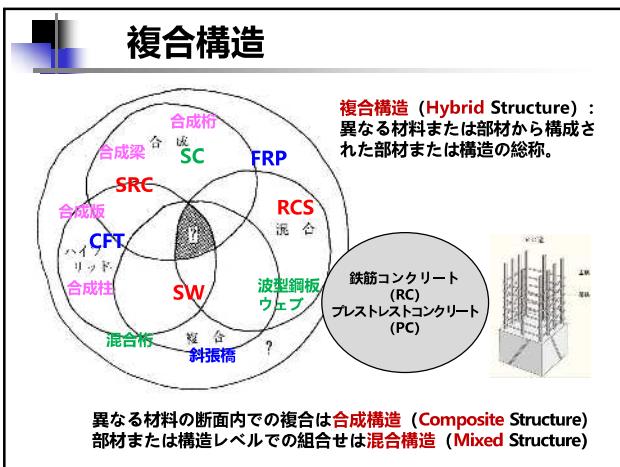
★複合材料およびそれを用いた構造の設計方法

FRP補強材を用いた部材の力学性能及び設計方法 / 超高強度繊維補強コンクリートUFCの力学性能および設計方法 / 波型鋼板ウェブ手延筋の研究 / UFC-PC床版の疲労性能

★各種構造および施工法の技術開発

Strand場所打ち杭工法 / プレート定着型せん断補強鉄筋Head-bar / 巨大断面シールドトンネルMMST工法 / 新幹線PCまくら木の開発 / プレキャスト床版接合方法の開発 / 高速道路更新技術 / 東京外かく環状道路地中拡幅部の構造検討

— 鉄筋コンクリート構造から脱皮して —



RC理論ってFRP部材に適用できるの?

钢筋混凝土与FRP筋混凝土的统一抗剪设计理论

■ V_c はせん断補強筋の引張剛性比 p_w' の影響を受けない; V_s は主筋の引張剛性比 p_t' の影響を受けない。 V_c と V_s を切り離す。

■せん断補強筋が鉄筋の場合、式 $V_s = A_w \sigma_{w,max} z / s$ において $\sigma_{w,max}$ が一様に f_{wy} 、破壊領域が0.75倍に減少：45度トラス。

■破壊モードは $\sigma_{w,max} \leq f_{wb}, f_{wy}$ ($\epsilon_{w,max} \leq \epsilon_{wb}, \epsilon_{wy}$) より判定。
 $\sigma_{w,max} > f_{wb}$ はFRP破壊; $\sigma_{w,max} > f_{wy}$ は鉄筋降伏。

■提案方法は、異なる補強材と異なる破壊モードを統一的に評価できる。FRPのみならず、高強度鉄筋にも適用可能。

- 設計への提言:
 - ①斜め引張破壊とせん断補強筋破断は設計上避けるべき。
 - ②FRP柱+断面補強筋の配置方向を部材軸上90°にしてよい

趙, 丸山 (1997.11) :
「連続繊維補強コンクリートはりのせん断耐荷機構とせん断耐力評価」

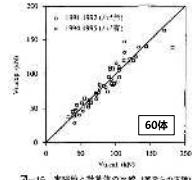


図-15 実験値と計算値の比較（著者らの算出）

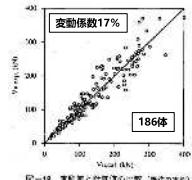
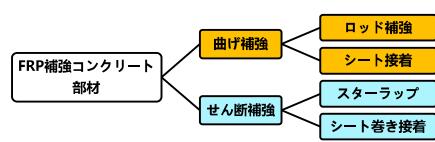


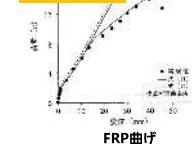
図-18 実験値と計算値の比較(操作の実験)

趙, 丸山 (1997.11) :
「連続繊維補強コンクリートはりのせん断耐荷機構とせん断耐力評価」

RC理論ってFRP部材に適用できるの?

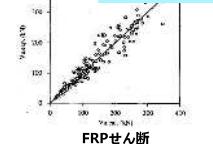


- ・曲げ変形条件あり
- ・中立軸繰返し計算
- ・Fiberモデル解析



FRP曲げ

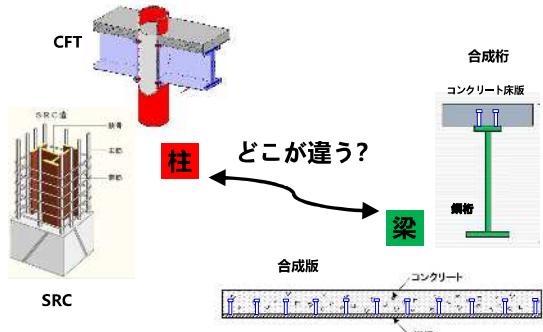
- ・せん断変形条件なし
- ・せん断耐力実験式
- ・非線形FEM解析



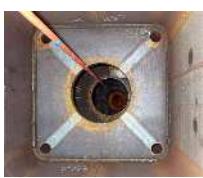
FRPせん断

(2) なぜSRC鉄骨柱に Stud 打たないの?

なぜSRC鉄骨柱に Stud 打たないの?



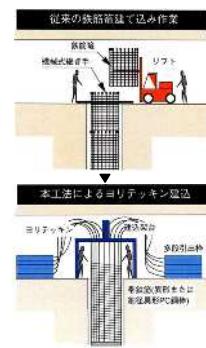
なぜSRC鉄骨柱に Stud 打たないの?

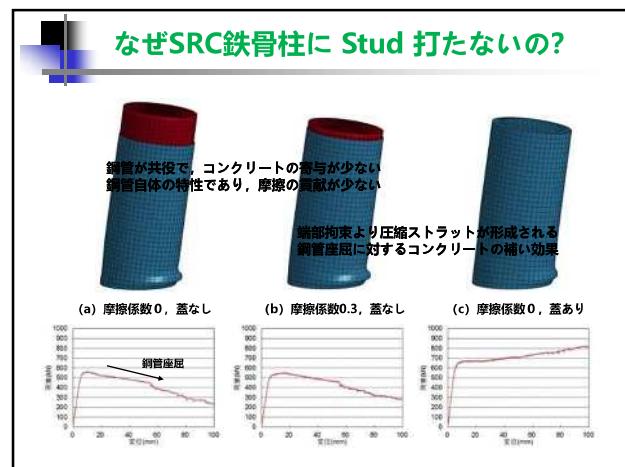
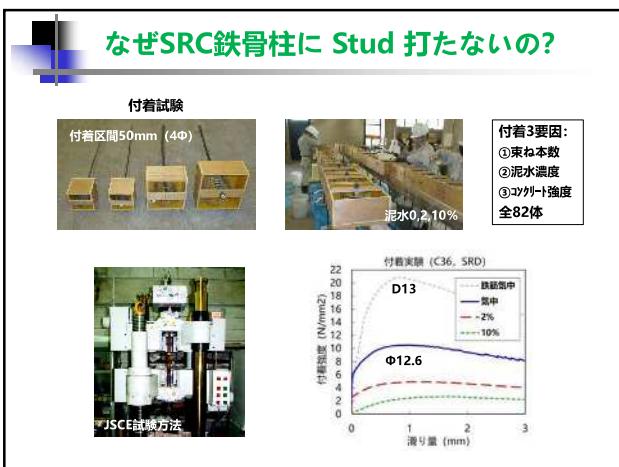
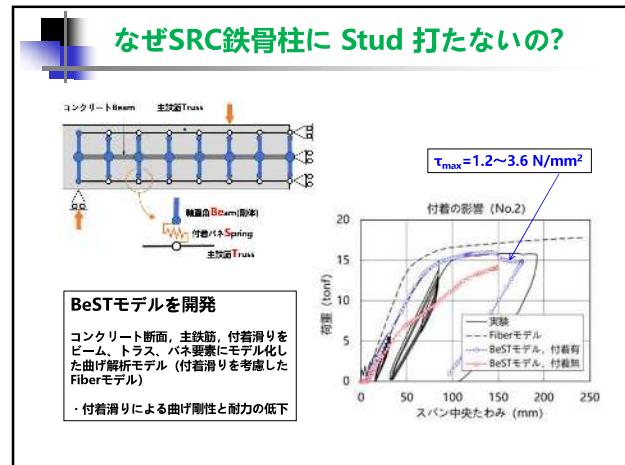
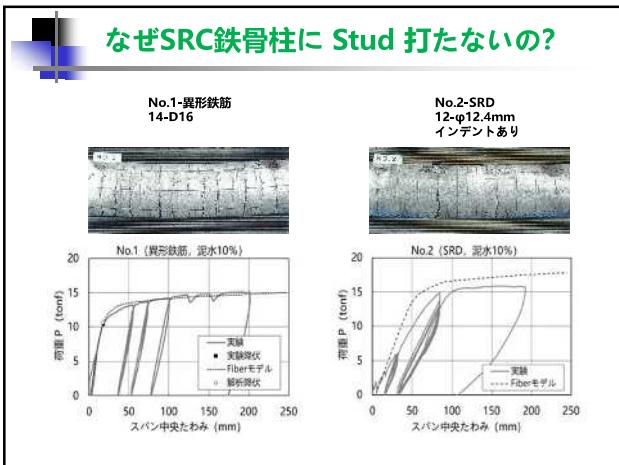
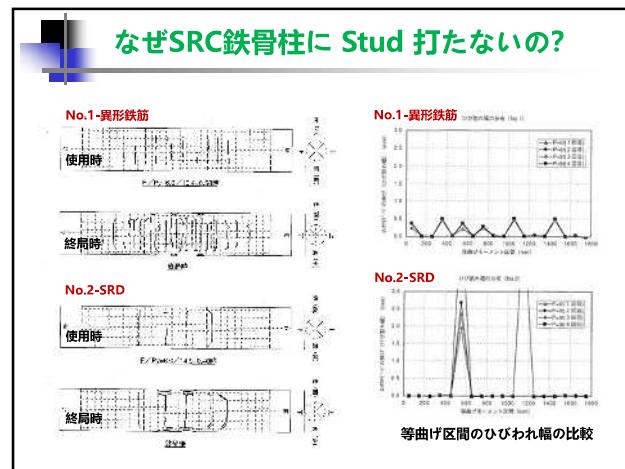
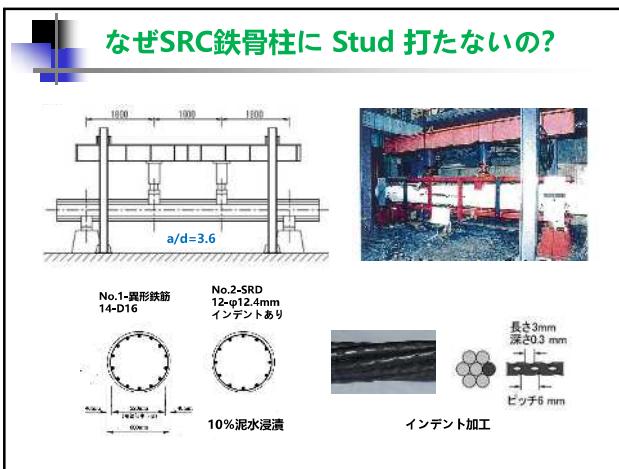


なぜSRC鉄骨柱に Stud 打たないの?



ストランド場所打ち杭工法
つくばエクスプレス建設に伴うJR秋葉原駅改良
第3回国土技術開発賞、H16土木学会技術賞





なぜSRC鉄骨柱に Stud 打たないの?

①CFT部材の充填コンクリート空隙の影響の検討

- ⇒ 上端コンクリートを1層分削除、未充填を模擬（摩擦係数は0.4）
- ⇒ 完全充填と未充填を解析、違いを検討
- ⇒ 結果：未充填の耐力が低い
空隙により一貫性が確保されず
コンクリートに圧縮応力が伝達されない

(複合構造委員会、コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会 報告書より)

なぜSRC鉄骨柱に Stud 打たないの?

②CFT部材の鋼管とコンクリート付着の検討

- ⇒ 鋼管とコンクリート界面にジョイント要素
接触時：法線方向⇒剛、接線方向⇒クロム摩擦
離脱時：法線方向も接線方向も荷重伝達しない
- ⇒ 摩擦係数を0.0と1.0で解析、違いを検討
- ⇒ 結果：剛性や最大耐力に大きな違いはない
付着（摩擦）の影響は小さい。

(複合構造委員会、コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会 報告書より)

なぜSRC鉄骨柱に Stud 打たないの?

①長と短（付着と定着、梁とアーチ）
②梁と柱（応力状態、曲げ引張と圧縮）
③非拘束と拘束（摩擦条件、離間と接触）
④単独役と共同役（ずれると一体性）
⑤照査要求（限界状態、変形照査）

付着の影響 (No.2)

図-24 中央集中荷重を受ける合成部材

なぜSRC鉄骨柱に Stud 打たないの?

SRC建築
フレームと耐震壁の一體性

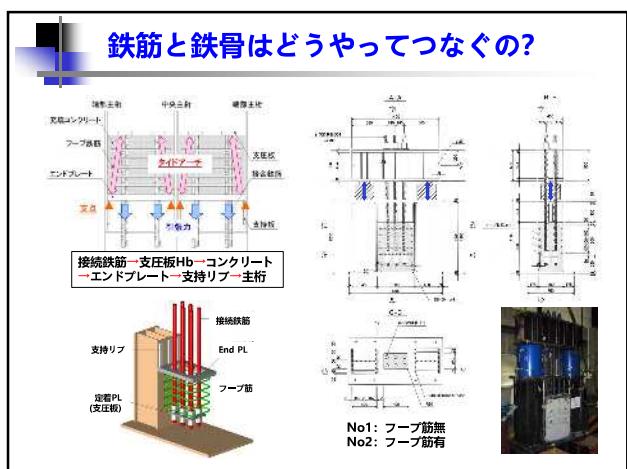
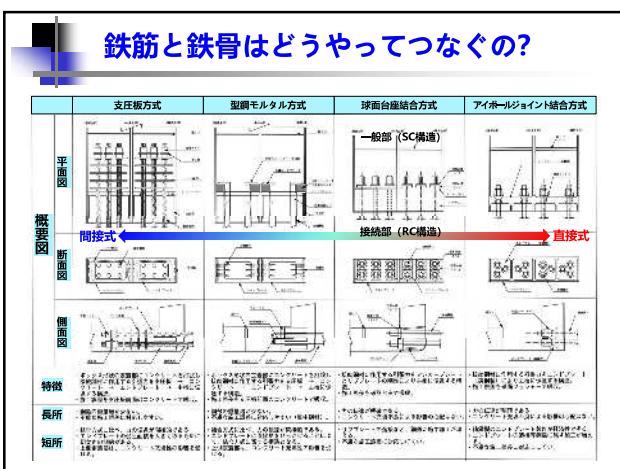
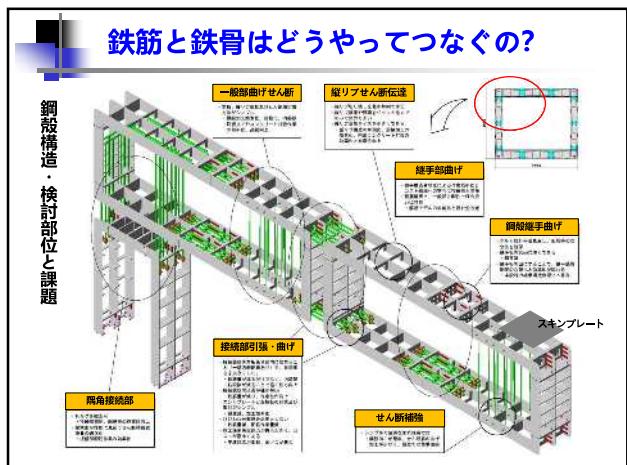
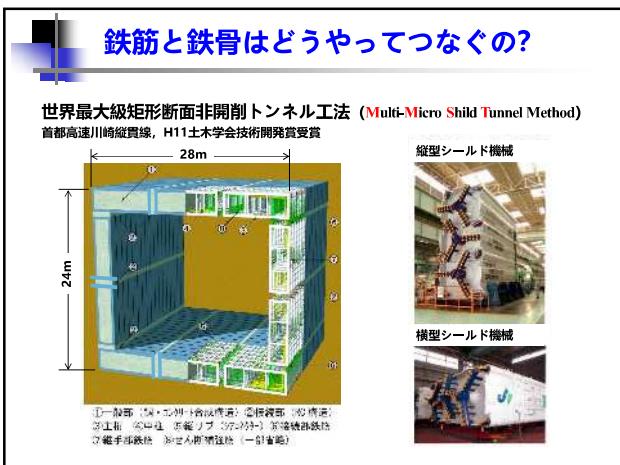
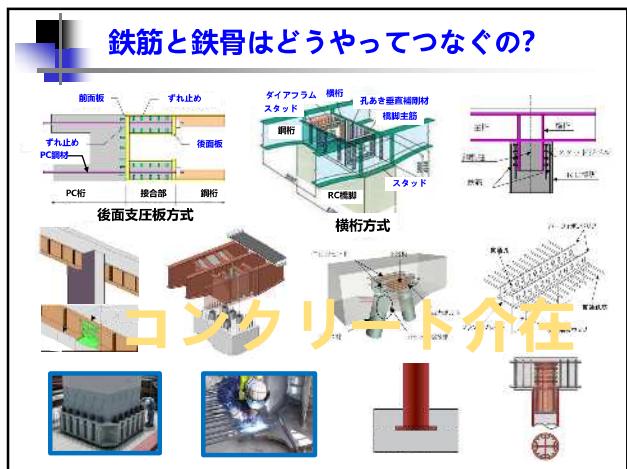
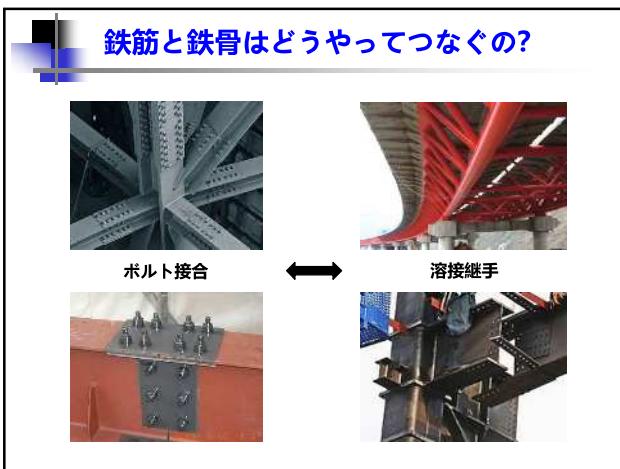
CFT橋脚
橋脚のフーチングへの定着

(3) 鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

鉄筋の継手

- 重ね継手
- 圧接継手
- 溶接継手
- 機械式継手



鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

主要な実験結果

- ①コンクリートがひびわれ (1900)
- ②コンクリート隅角部局所圧壊開始 (3000)
- ③支持板局部降伏 (4000)
- ④No1: エンドプレート降伏 (4000)
- ⑤No2: 耐力到達 (4600)、以後耐力維持
- ⑥No3: 接続鉄筋降伏 (4700) 以後耐力維持
- ⑦支柱板: 接続鉄筋降伏耐力の2/3を分担

Figure showing stress-strain curves for different connection types. The top graph shows stress (kN) vs strain (mm/mm) with a peak at ~4000 kN and a drop-off after point 6. The bottom graph shows stress (kN) vs displacement (mm) for various connection types (1000kN/mm, 2000kN/mm, 3000kN/mm, 4000kN/mm) and a final point for end plate.

鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

コン強度の影響

鉄筋埋込長の影響

主な解析結果

- ①解析における破壊のプロセスは、隅角部コンクリート降伏⇒エンドプレート降伏⇒接続鉄筋降伏となっている。
- ②接続耐力はエンドプレートの板厚に支配される。設計ではエンドプレート降伏を避けるべきである。
- ③本解析は、設計への適用の観点から、2次元モデルを使用した。3次元解析やフープ補強効果の評価は課題であった。

鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

隅角接続部正負交番載荷試験

直線接続部曲げ載荷試験

試験結果

鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

新東名富士川橋
構造: コンクリート接合アーチ橋、スパン 265.00m は複合構造世界一
RCアーチリブ、RC柱直接、鋼2主材およびUPC床版の複合構造

R: 刚結構構造、E: ゴム支承

側面図

断面図

鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

剛結構造の課題

- 従来の剛結構造は、桁の応力を横桁を介して下部構造へ伝達
- 本構造では横桁を介さず、桁に配置した孔あき鋼板ジベルによって直接接続部へ伝達される構造が特徴であるが、設計手法が確立していない。
- 3次元FEM解析を行い、各部位の応力を算出して方法論を決定
- 設計の妥当性を検証するため確認実験

試験体形状 (上下を逆さま)

孔あき鋼板ジベル配置 (上下を逆さま)

試験体設置状況 (上下を逆さま)

鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

伝達経路

| 伝達経路 | 伝達内容 |
|--------------------|--------------------|
| 床版 | - 橋脚 - 合成桁の軸力・せん断力 |
| 鋼桁 - 孔あき鋼板ジベル - 橋脚 | 合成桁の軸力・曲モーメント |
| 鋼桁 - ベースプレート - 橋脚 | 合成桁の曲げモーメント・せん断力 |

桁回転する際、下フランジ周辺に3方向の引張せん断力が発生

a) 水平方向バネ反力

b) 鉛直方向バネ反力

孔あき鋼板ジベルの設置方向は水平65%有効に対し鉛直は5%

桁周辺部の補強

鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

性能確認実験の結果

- 設計荷重荷重に対して、剛結部の応力が解折過に現れている
- 想定外の荷重に対する剛結部は塑性的な破壊が生じていない
- 剛結部周辺は顕著な損傷が認められず、適切に補強された
- PBLによる鋼板とRC構造の剛結構造は良好な耐震性能

試験体および載荷方法

終局破壊状況

荷重-変位履歴曲線

孔あき鋼板の橋軸方向ひずみ分布

鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

① 鉄筋と鉄骨の直接接合はまれ。コンクリート介しての接着が多い

② 刚結合は剛域より確保される。剛域とはコンファインドコンクリート

③ 鉄筋を鋼版に埋め込む：開底鋼製版では剛域を形成しやすい

④ 鉄骨をコンクリートに埋め込む：形状は自由だが、十分な補強！

鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

・鋼部材とRC部材の接合には種々の形態があり、その形態ごとに照査を行う必要がある。
・現状では、種々の接合部に対して照査を行う方法は一般化されていない。
・土木学会 複合構造標準示方書 「異種部材接合部編」

複合構造標準示方書

鉄筋と鉄骨はどうやってつなぐの?

土木学会 複合構造標準示方書「異種部材接合部編」では：

- すれ止めや支圧などにより応力を伝達する装置と伝達機構の総称を「伝達要素」と定義、適切な力学モデルを用いて、接合部の設計断面力を伝達要素の伝達力を交換して照査する。
- 複数の伝達機構がある場合、変形の適合条件を考慮して各伝達要素の分担割合を求める。それが困難な場合、主要な1つの伝達要素のみを考慮して照査を行うものとする。

M伝達経路

曲げモーメント伝達の例

(RC柱頭部の補強)

(100%分担)

まだまだ感います

? 主筋座屈とコアコンクリート圧壊はどっちが先なの?
? 鉄筋コンクリート造と鉄骨造って、どっちが安い?
? 鉄筋の太さって、どれぐらいいいの? (阪神淡路大地震、阪神高速倒壊)
? ラーメン構造と耐震壁構造の耐震性能って、どっちがいいの?
? 鉄筋の付着強度って、どのぐらいで足りるの?
? コンクリート構造のFEM解析って、要素分割は細かいほどいいの?
? なぜ道路橋のコンクリート床版は許容応力度設計なの?
? 断面塑性設計と骨組み弹性解析の矛盾って、いつ解消できるの?
? すれ止めの押し抜き試験では、試験体下面の境界条件はどうすべきか?
? プレキャスト工法って、環境メリットはどれだけあるの?

疑問が多いって、好奇心はあるが根性がないのかもしれません。
 まとまらない話でsumimasendesita!

ご清聴ありがとうございました!